

議案第48号令和6年度池田町一般会計補正予算第5号 賛成討論

矢口結以議員

1点目に、子ども家庭センター設置予算に関して、子育てしやすい環境という点では、センターの設置により、池田町独自の方策として、一時保育や遊びの広場を提供するとともに、子育てに関する情報提供、相談対応、地域資源の紹介などがワンストップで行える環境が整います。また、センターを通じて人々が交流し、つながることで、地域コミュニティの強化にもつながると考えます。

また相談窓口という点は、18歳までの子どもたちや子育て世代が抱える課題は、早期に適切な対応を行うことで深刻化を防ぐことができます。保健師や相談員、助産師、教育委員会と共に、一体的な体制となることで、必要な支援が行き届く環境が整い、課題解決が期待されます。

そして、「子どもたちが安心して健やかに成長できる環境」をつくることは、子どもや子育て世代だけでなく、地域全体の幸福度を向上させる鍵となります。子ども家庭センターは、子育てを支援するだけでなく、地域の誰もが安心して暮らせる土台を築くための重要な施策です。その効果は、持続可能なまちづくりにも大きく寄与するものと考えます。

2点目に、多目的センター改修費についてです。中間教室にじいろの移転にともない計上された予算であります。子どもたちが安心して過ごせる居場所を行政として整えることは、非常に重要な取り組みです。特に「にじいろ」のような場合は、さまざまな背景や事情を抱える子どもたちにとって、心の拠り所となる大切な空間です。新たな場所への移転により、より快適で安全な環境が提供されることは子どもたちの健やかな成長にとって不可欠です。子どもたちが学校以外の場所でも自己肯定感を育みながら成長できる環境は地域社会全体にとっても大きな意義があります。以上の理由から、私は議案第48号に賛成いたします。

他の議員の皆様にもご賛同いただきますようお願い申し上げ、私の賛成討論とさせていただきます。

三枝三七子議員

福祉の池田町が復活する兆しが見える。その根拠3点を挙げる。

1点目は、多目的センターを改修し、教育支援センターとして中間教室にじいろ教室の再設置をすること。また同所を避難所としての機能も見据えた方向で検討されていること。2点目は、子ども家庭支援センターを安らぎの郷内に設置、これまでより一層の子育て支援と、一時保育・誰でも保育園に対応させ子育て環境の充実がみられること。3点目は地域密着通所型介護所であった池田南部サービスセンターさくらの家をやすらぎの郷へ吸収し、かねてより強い要望のあった特性のある子どもたちの放課後サービスとして、来年度より利用を可能にするということなどだ。

更に、池田町が大北で後発であるゼロカーボン推進計画も、事務事業範囲で計画作成を、外注コンサルタントを入れず、職員の努力で作成されるという強い覚悟がある。以上のことについて、深い感謝と、町長を初め職員の方々にエールをもって賛成をする。

陳情第 16 号建築士事務所賠償責任保険への加入について：反対討論

三枝三七子議員

これは建築家賠償責任保険のことだが、陳情内容にある建築士法第 24 条 9 は、建築士事務所の開設者が設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結等、必要な措置を講じるよう、努力義務を定めているが、建築士事務所協会に加入している全国の 1 万 5000 事務所中、現在 6700 足らずだ。登録数からすると 44.6%の事務所しかこの保険に入っていない。

この陳情を採択するということは大手中堅事務所のみに仕事を発注するように図ることになりかねない。この保険料の規定は設計監理料のみの収入売り上げによって入れるプランが決められ、小人数で年間売上が 1000 万に満たない事業者への補償金額の上限は 5000 万ほどにとどまっている。この保険に入らなければ入札する対象から外される可能性を暗に、この陳情の文章からは読み取れる。入札におけるハードルを地方自治体が設けていくことは、抗いたいと考える。

他の議員にもこの陳情について、反対を考えて頂きたい。

陳情 16 号 賛成討論

薄井孝彦議員

どんな優れた設計者も不備な点が出てくることはあり得る。そのような場合、建築設計業者が建築士事務所賠償責任保険に加入していることにより事故補償に係わる社会的被害をなくし、建築設計業者を存続・維持できる。本陳情は正当な要望であり、「採択」にすべきと考える。

陳情 17 号 2000 年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について 賛成討論

薄井孝彦議員

1981 年から 2000 年の時期の新耐震の木造住宅は「新耐震のグレーゾーン」と呼ばれ、耐震性が不足しており、熊本地震の調査もそのことを裏付けている。国も 1981 年以前の木造住宅への補助ばかりではなく、グレーゾーンも含めて助成すべきと考えるので、採択すべきである。